

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 1870100474                            |
| 法人名   | 財団法人松原病院                              |
| 事業所名  | グループホーム和                              |
| 所在地   | 福井県福井市若杉町25-18-1<br>(電話) 0776-34-5595 |

|       |                                      |       |            |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター             |       |            |
| 所在地   | 〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階 |       |            |
| 訪問調査日 | 平成20年3月3日                            | 評価確定日 | 平成20年3月14日 |

## 【情報提供票より】(平成20年2月1日事業所記入)

## (1)組織概要

|       |                 |                      |       |
|-------|-----------------|----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 10 年 4 月 1 日 |                      |       |
| ユニット数 | 1 ユニット          | 利用定員数計               | 9 人   |
| 職員数   | 10 人            | 常勤 2人, 非常勤 8 人, 常勤換算 | 7.5 人 |

## (2)建物概要

|      |            |       |       |
|------|------------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り |       |       |
|      | 2 階建ての     | 1 階 ~ | 2 階部分 |

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |     |       |
|---------------------|------------|----------------|-----|-------|
| 家賃(平均月額)            | 30,500 円   | その他の経費(月額)     | 無   | 実費    |
| 敷金                  | 有( 円)      | 無              |     |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)      | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無 |       |
| 食材料費                | 朝食         | 200 円          | 昼食  | 300 円 |
|                     | 夕食         | 300 円          | おやつ | 200 円 |
|                     | または1日当たり 円 |                |     |       |

## (4)利用者の概要( 2月 1日現在)

|       |     |      |     |      |     |      |
|-------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性   | 0 名 | 女性   | 9 名 |      |
| 要介護1  | 5 名 | 要介護2 | 3 名 |      |     |      |
| 要介護3  | 1 名 | 要介護4 | 0 名 |      |     |      |
| 要介護5  | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |      |     |      |
| 年齢    | 平均  | 85 歳 | 最低  | 82 歳 | 最高  | 93 歳 |

## (5)協力医療機関

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 協力医療機関名 | 財団法人松原病院 精神科・内科 |
|---------|-----------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

病院を母体を持つグループホームは、静かな住宅街の中にたたずみ、活気ある小学生たちの通学路になっており、徒歩圏内には、公園、商店街、学校などもあり環境に恵まれています。「アットホームの中に礼儀あり」の理念に基づき、職員は、“言葉”を大切にされ、一人ひとりに対する言葉掛けが優しく、丁寧に関わっておられます。入居者の方々は、職員と一緒に調理や後片付け、掃除、テレビを観たり、お喋りしたりして、自由な時間を過ごされ、穏やかでゆったりとした雰囲気となっています。また、独自のアセスメント、生活援助計画にて一人ひとりを深く見ておられ個別のケアにも取り組まれています。入居者の方々が家族と過ごされている時にとっても良い表情をされている事からも家族との関わりを大切にする取り組みにも力を入れておられます。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|       | 前回の課題については、書類への書面権利・義務の記載をはじめ、栄養面など職員で話し合いながら検討しています。   |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|       | 今回の自己評価は全職員に配付し、項目の理解を図ってもらえるようにガイドラインも回覧され、管理者がまとめ上げられています。自己評価を通して、意識、ケアの統一が図られています。  |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  |
|       | 家族、公民館館長、自治会長、婦人会の方、介護相談員、地域の小規模事業所管理者、地域包括職員、民生委員で第三者委員の方など多数が参加されている運営推進会議では、地域へのさらなる取り組みの検討や意見交換、要望を受け、サービスに活かし良い機会としています。   |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)   |
|       | ホームに来られた際に直接要望を聞いており、運営推進会議も意見や要望を表せる大切な機会と考えられ、全家族に参加の案内をしています。書面でも意見や要望の体制をわかりやすく説明しており、外部窓口、第三者委員のホーム内での相談日も設けられ、今後、家族が、直接第三者委員に連絡出来る体制をとる予定です。  |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|       | 自治会へ入会しており、地域のお祭りや敬老会では和を一つのひとつの家として入居者全員が一緒に参加出来るように働きかけ、実現されています。地域の中学校へ文化祭や運動会や小学校でのバザーへ招待してもらったり、市のいきいき展に作品を出品しています。また、ホームだよりを回覧板に掲載し、地域の様々なところに設置もしています。ホームでは、毎月地域交流会の実施やバザーも開催され、地域の方に来てもらい積極的に交流を図っています。 |

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |                                  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |                                  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 家族、地域とのつながりを大切にしながら入居者を尊重し、自由な暮らしを支援する内容の運営方針があり、それを基に独自の理念である「アットホームな中にも礼儀あり」を掲げられている。地域の方がホームに来られる事だけでなく、ホームからのケアのあり方を発信していく事も職員で話し合い、追加され取り組まれている。   |      |                                  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 日々の会話や職員会議等で理念にそったケアについて話し合っている。入居者、家族、地域と接する中で言葉遣いに配慮し、理念の実現に向けて取り組んでいる。また、職員は理念にそった年間の目標を設定し、定期的に管理者と面談して振り返っている。   |      |                                  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |                                  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 自治会へ入会しており、地域のお祭りや敬老会では和を一つのひとつの家として入居者全員が一緒に参加出来るように働きかけ、実現されている。地域の中学校へ文化祭や運動会や小学校でのバザーへ招待してもらったり、市のいきいき展に作品を出品している。また、ホームだよりを回覧板に掲載し、地域の様々なところに設置もしている。ホームでは、毎月地域交流会の実施やバザーも開催され、地域の方に来てもらい積極的に交流を図っている。 |      |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |                                  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 前回の課題については、書類への書面権利・義務の記載をはじめ、栄養面など職員で話し合いながら検討している。今回の自己評価は全職員に配付し、項目の理解を図ってもらえるようにガイドラインも回覧され、管理者がまとめ上げられている。自己評価を通して、意識、ケアの統一が図られている。  |      |                                  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 家族、公民館館長、自治会長、婦人会の方、介護相談員、地域の小規模事業所管理者、地域包括職員、民生委員で第三者委員の方など多数が参加されている運営推進会議では、地域へのさらなる取り組みの検討や意見交換、要望を受け、サービスに活かし良い機会としている。  |      |                                  |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                  |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 書類の申請の際には出向いたり、電話で話しをしているが、その他については、毎月ホームに来られている介護相談員を通して、市の方に意見等を伝えてもらっている。   | ○    | 今後、市担当者に地域運営推進会議への出席をお願いしたり、ホームに足を運んでもらえるようにホームからの積極的な働き掛けが期待される。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |  |      |   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 利用料を振り込みしないで、毎月持参してもらい、家族が多く来訪していただけるように配慮をされており、家族がホームに来られた際に、最近の様子や健康状態について報告されている。季節毎の写真入りの広報誌も配付され、個人毎のアルバムにて写真も見て表情を知ってもらっている。                |      |   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | ホームに来られた際に直接要望を聞いており、運営推進会議も意見や要望を表せる大切な機会と考えられ、全家族に参加の案内をしている。書面でも意見や要望の体制をわかりやすく説明しており、外部窓口、第三者委員のホーム内での相談日も設けられ、今後、家族が、直接第三者委員に連絡出来る体制をとる予定である。 |      |   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人による職員の異動も無く、離職も少なく、馴染みの職員でのケアがなされている。新しい職員が入る場合は、入居者に紹介し、お互いに馴れるまで日勤帯で寄り添う時間を多く持ってもらい、夜勤に入る際は2名体制にするなど工夫している。                                    |      |   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |  |      |   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 内部研修や外部研修に出来るだけ参加し、外部研修後は報告書を作成し、職員間でレジュメとともに回覧しており、毎月の会議にて伝達研修を行ってもらっている。   |      |   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | グループホーム協議会に参加し、研修を通して相談や意見交換を行っている。地域の小規模多機能事業所と交流し、運営推進会議にも互いに参加しながら共にサービスの向上に努めている。  |      |   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |   |  |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |   |  |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に必ず見学に来てもらい、他の入居者と接してもらっている。一人ひとりの状況に合わせて、家族と相談し、協力を得ながらホームに馴染ってもらえるように配慮している。  |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |   |  |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | みんなで一緒にすることを基本に置いており、日常生活の中で掃除をしたり、おかずを1品作ってもらったり、魚のさばき方や、味付けを教えてもらっている。入居者同士も助け合いながら一緒に過ごしている。  |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |   |  |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 入居時に希望を聞いており、日常の会話から得た情報や様子、状況からの気づきについてはケースに記録し、会議等で話し合っている。センター方式を基にホーム独自の書式を作成しており、本人の姿と気持ちシートを用いて検討もされている。                                   |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |   |  |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している         | 生活に関わる細かい項目についての独自の出来る事、出来ない事シートでアセスメントし、入居者、家族の希望を反映し、カンファレンスや支援経過、ケース記録、申し送りでの職員の意見も取り入れた、それぞれの項目の生活援助計画を立て、さらにそれを基に現状に即した個別具体的なケアプランが作成されている。 |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している     | ケアプランは基本的に3ヶ月に1回見直されており、状態に変化があった場合や状態に合わせて期間設定を明確にし、その都度見直されている。期間設定毎のケアプランの評価、1年毎の生活援助計画の評価も行っている。   |      |                                  |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|---|--|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |   |  |      |                                  |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 家族の状況に合わせて通院介助をしたり、住んでいた家に一緒に行ったり、外食や喫茶店、買物など個別の支援をしている。   |      |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |   |  |      |                                  |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居時に希望を聞いており、それぞれのかかりつけ医となっている。通院の際に家族と一緒に同行する事もあり、主治医から話を聞いたり、相談したり連携をとっている。現在必要に応じての往診のお願いもしている。   |      |                                  |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時に重度化や終末期における本人、家族の意思を確認し、ホームで出来る最大のケアについて説明をしている。   |      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>       |    |   |  |      |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |   |  |      |                                  |
| (1)一人ひとりの尊重                            |    |   |  |      |                                  |
| 20                                     | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 理念、方針にも掲げられている通り、尊厳を最も大切にされており、ケアの基本として日々取り組まれ、丁寧な言葉遣い、対応がなされている。個人情報については、事務スペースの目に付かないところに保管されている。 |      |                                  |
| 21                                     | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 大まかな1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを尊重し、希望に合わせたケアがなされている。  |      |                                  |

| 外部                            | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食べたいものを聞きながら献立を考えて、買物に行く際は一緒に行き、調理、配膳、後片付けを一緒に入居者は積極的に行っている。食事も季節に合わせた料理で、おいしいものを一緒に楽しくとられている。                                  |      |                                  |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入居者の希望にそって入る時間や長さなど支援されており、お風呂は大変広く、仲の良い入居者同士で入ったりもしている。拒否される方には言葉掛けを工夫している。  |      |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活歴や趣味を活かし、お花生けや習字、裁縫、そろばんでの計算、漢字や英語のドリル、畑仕事や地域の河川敷の花壇やプランターで花を育てたり、様々な支援をしている。日々の掃除や調理ではみんなが力を発揮し、お互いを支え合っている。                 |      |                                  |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 天気の良い日は散歩に出掛けたり、ホームの外にベンチを出して日向ぼっこしたり、買物やドライブも支援している。   |      |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |   |   |      |                                  |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 居場所の把握に努め、日中は玄関、裏口、勝手口すべて鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。出掛ける際は声掛けをし、希望にそって一緒に外出している。   |      |                                  |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 消防署の協力を得て、年に2回、夜間想定訓練や、経路の確認、消火器の使い方等の訓練を行っている。地域への協力については、近所の方に日頃よりお願いしており、運営推進会議を通しても働き掛けている。また、地域の訓練の際には近所の方と一緒に入居者も参加されている。 |      |                                  |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|----------------------------|----|---|--|------|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |   |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 栄養バランスを考えた食事が提供されており、食事摂取量については毎食記録しており、水分摂取量は必要な場合に記録をしている。入居者の体調に合わせて、お粥にしたり食が進むように工夫している。           | ○    | 定期的に栄養の専門的な観点からのチェックやアドバイスを獲得する体制の検討が期待される。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |  |      |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |   |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花や飾り、入居者の手作り作品などを飾り家庭的な雰囲気が出るように工夫しており、ちょっとしたスペースに椅子やソファを配置し、明るく、広い台所とくつろげる和室もあり、居心地良く過ごせる空間となっている。 |      |   |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 使い慣れた物品の持込が自由であり、タンスや鏡台など持ち込まれており、写真や作品を飾ったり、カーテンやラグなどでその方にあった居室づくりをしている。                              |      |   |